

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：特別養護老人ホーム 若竹苑	種別：特別養護老人ホーム	
代表者氏名：加藤 厚子	定員（利用人数）：100名(99名)	
所在地：〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町550-1		
TEL：045-381-3232	ホームページ： https://www.wakatake.net/category/facility/wakatakeen/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1989年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 若竹大寿会		
職員数	常勤職員：60名 非常勤職員：56名	
専門職員	（専門職の名称） 名 介護支援専門員：2	
	看護師：3名 生活相談員：2名	
	管理栄養士：1名 機能訓練指導員：2名	
	准看護師：1名 事務員：1名	
施設・設備 の概要	（居室数） 1人部屋：4 2人部屋：4 4人部屋：25	（設備等） 静養室：1室 医務室：1室 食堂：1 機能訓練室：1室 理髪室：1

③理念・基本方針

法人の使命（法人の理念）

若竹大寿会は職員一丸となって人を幸せにします。人が大切にされる世の中を創ります。

若竹大寿会 職員の誓い

私たちの目指すもの、それは自分自身が親にしてあげたいお世話、自分自身の子どもにひらきたい未来、自分自身が利用したいサービス

若竹大寿会のあるべき姿

地域の信頼を得て地域を支え、地域に支えられる法人

品質方針

1. 顧客志向 2. 専門性向上 3. 効率向上 4. 素早く継続的な改善 5. 明るい職場

④施設・事業所の特徴的な取組

若竹苑では、利用者にとって、食事は一番の楽しみであり、生きる源であると考えて美味しくまた薬膳を取り入れた体にとって良い食事の提供を心がけています。管理栄養士は、年1回の嗜好調査から利用者の意見を把握し献立に生かしています。本物を味わって頂く為に、食器にこだわり、京焼、海外の高級な食器を揃えてきました。行事食では、七夕には天の川そうめん&スイカポンチ、敬老の日にはお刺身、赤飯、てんぷら等、豪華な食材と季節をイメージした彩り、美味しい季節料理に利用者の笑顔が溢れる楽しい食事となっています。

現在はコロナ禍で中止となっていますが、薬膳を取り入れたバイキングを実施し利用者が豊かな食生活を楽しみ、食の充実が図れるよう取り組んでいます。全床にご利用者の睡眠状況を把握できるセンサーと、介護記録ソフトを導入しています。スタッフは手持ちのスマートホン、もしくはパソコンにてご利用者様の状態を随時確認し睡眠を妨げることはありません。以前は6月には朝市が開催され、近隣のたこ焼き屋さん、パン屋さん、農家の方の野菜販売、保土ヶ谷中学吹奏楽、ママさんたちの合唱と賑わっていました。

今後は、バイキングや地域の方を呼びイベントの再開に向け準備しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年6月1日（契約日） ～ 令和5年3月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)美味しく楽しい食事に力を入れています

利用者にとって食事は一番の楽しみであり、生きる源であるとし、美味しく体に良い食事の提供を心がけ、薬膳を取り入れた献立を管理栄養士・栄養士が作成して提供しています。管理栄養士は年1回の嗜好調査の実施等で利用者の意見を把握し、献立に活かしています。行事食では、七夕には天の川そうめん&スイカポンチ、敬老の日にはお刺身、赤飯、てんぷら等、豪華な食材と季節の彩り、美味しい料理に利用者の笑顔溢れる食事となっています。現在はコロナ禍で中止となっていますが、薬膳を取り入れたバイキングを実施して利用者が豊かな食生活を楽しめるよう取り組んでいます。

2)利用者が望む生活が実現できるように支援しています

職員は、利用者の思いや希望を十分に把握できるよう、日々の活動の中で利用者とのコミュニケーションを取り、信頼関係を築いています。職員の気づきを記録し、職員間で共有しています。ケアマネジャーが中心となってケアカンファレンスを開催し、多職種の職員で利用者一人ひとりの思いの表出、自己決定支援に力を入れています。専門性を活かした話し合いを重ねることで、利用者がその人らしい楽しみのある生活が送れるように支援しています。

3)利用者の思いに寄り添って毎日の生活を支援しています

利用者の要望を大切にしながら、嚥下能力、栄養面に配慮し、粥やミキサー食、みじん食など多彩な食事形態で食事を提供しています。自助具を利用し利用者のペースに合わせて嚥下しやすいよう、できるだけ座位を保持できるように工夫しています。入浴形態は、利用者の心身状態に応じて支援しています。体調に配慮しつつ入浴時間も利用者の希望に応じています。排泄介助は、立位ができる利用者にはトイレで排泄を

行えるよう介助を行い、排泄の介助を行う時は羞恥心に配慮し、さりげなくトイレに誘っています。排泄時はカーテンを閉めるなどの配慮をしています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受審し、施設運営に対する客観的な評価に接することができました。

評価結果につきましては真摯に受け止め、問題点を職員全員で共有し業務 運営の向上に努め、信頼される施設を目指したいと思います。

コロナの影響で面会ができていなかったためにご利用者、ご家族様には寂しい思いをさせてしまいました。

コロナ渦で何もできなかったでは済まされるものではありません。一日も早くコロナ前の生活に戻していけるように職員一丸となり頑張ります。第三者からの助言は、客観的に事業所を見つめる良い機会となりどのように改善していったら良いかのアドバイスが具体的で参考になりました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり